

# 平成 27 年度 事業報告

## 警 岡山理科大学附属高等学校

教育の質的改善に取り組むことによって、地域社会からいっそう信頼される高等学校づくりを推進しました。



建学の理念や校訓を実質的に実りあるものにするために、次のような教育活動の方針を定着せしめるよう努力しました。

- (1) 高等学校教育を組織的な最後の教養教育の場としてとらえ、各教科をしっかりと教えることによって、生徒に継続的な勉学の習慣と確かな学力を身につけさせる。
- (2) 高等学校時代を人生で人格的変容のもっとも重要な時期ととらえ、依存的な子どもから自立的な大人へと脱皮してゆくように、生徒の生活指導を行う。
- (3) 生徒の安全と身体的健康に注意し、自由で開明的な校内雰囲気を醸成する。  
特に、以下の5つの課題に重点的に取り組みました。

- ①財務改善
  - ②進学実績の向上
  - ③教育学科の振興・育成
  - ④SSHの校内普及と授業改善
  - ⑤校内運営組織の簡素化と情報の共有化
- 上記④、⑤については相当の成果が得られたが、①～③については、努力の割には実績がいまひとつなので今後ハードな努力を要する。教職員の意識改革が大切である。

岡山理科大学附属高等学校  
校長 宮垣 嘉也

### 教学の充実

#### ■SSH校としての取組

・全校一丸となり、研究開発・指導に取り組む体制を構築し、実行しました。

1年生全体が取り組むサイエンスワークが2年目を迎え担任の独自性が発揮されてきました。この結果が授業改善へとつながるためには、今一層の努力が必要であるが方向性としては間違っていない。課題研究では2年生が希望選択から全員履修に変えたことによるばらつきが出た。生徒によっては積極的に取り組む姿勢が弱い者もいた。生徒の興味を掻き立てる方法を模索する必要がある。

大学聴講は一定の成果を出している。生徒はかなり真剣に取り組み、単位を落とす者が少なかった。次年度は第1期の最終年度になるので総括と次につながる取り組みが求められる。

#### ■関連校・提携先との連携による質の高い教育の提供

・高校での授業に加え、関連大学や関連専門学校での実習、聴講を体験することで、多面的な理解を深めました。また、より体験的な教育として、学園の提携する施設等（池田動物園・山田養蜂場他）での実習により、興味・関心を深めることができました。

#### ■学校内での学力向上取組

- ・学校行事を精選し、より多くの授業時間を確保しました。
- ・補習や諸検定試験、模試を有効に活用し、学力向

上に努めました。

## 生徒指導

### ■生徒指導

・教育相談室・保健室・担任・生徒部・管理職との連携を強化しました。7月には、保健室・教育相談室合同委員会を開催して教員間の連携を図り、生徒の学校生活支援に努めました。

・朝のあいさつ運動を実施し、合わせて生徒の服装・頭髮の乱れなどへの指導を行いました。

・毎朝、教員による自転車・バス指導を行いました。

・生徒を中心とした自転車マナー向上運動を実施しました。サイクルマナーアップモデル校の指定を受け、岡山西警察署の協力により自転車指導を行いました。

・PTAと協力しての保導活動（街頭保導・列車保導を年間50回）を行いました。

・岡北セーフティネットを通じて地域との協力・連携を強化しました。岡北学区学校連絡協議会（6月には理科大学と本校、2月には岡山大学が当番校）を開催して情報交換を行い、地域との協力・連携を図りました。

・いじめ予防のための人権学習（アンケートや資料を使つての話し合い）を行いました。

## 進学・就職指導

### ■進学指導と就職活動支援

・国公立大学への進学者が増えるよう、学力向上を目指したプログラムとして、センター試験対策講座、国立対策特別教室、夏季特別講座、冬季特別講座を実施しました。

・関連大学を紹介する機会（関連大学説明会）を増やし、関連大学への進学意欲を更に向上させました。

・大学訪問及び広く情報交換を行い、指定校獲得を目指しました。

・生徒に合わせた就職指導を行い、学校斡旋就職率

100%を達成しました。

・生徒の進学意識や意欲の向上を目指す目的として、神戸大・徳島大・島根大・甲南大・川崎医療福祉大学を訪問しました。

・キャリア教育講座として、三菱自動車工場見学・出前講義を実施しました。また、学年別で進路ガイダンスを実施しました。

## FD・SD

### ■教職員への資質向上への取組

・先進的な教育や取り組みをしている学校等を視察・見学・体験し、本校への導入を検討することで、新たな教育の展開に努めました。

・外部講師を招き、資質向上のための講演会を実施しました。

### ■授業アンケートによる授業評価

・生徒、保護者に授業アンケート等を実施しました。結果を以後の学校運営や授業へ反映することでより良い教育の提供に努めました。

## 科・コースの取組

### ■教育学科

初年度を迎え、設置理念に沿った教育を実施しました。教育専門科目、ボランティア活動など当初の理念を念頭に、設置理念に向かって邁進しました。

### ■普通科

コースの特色を生かした取り組みとして、進学理大コースを中心としたSSHの取組、生命動物コースの課題研究及びアニメ・デザインコースの校外での作品展を実施しました。学力向上の面では、東京6大学のうち5大学で合格実績を上げることができましたが、国公立の合格者数伸ばすことができず、次年度の課題となりました。

## ■機械科

・資格取得の強化のため、徹底した補習（機械保全、危険物、計算技術等）を実施しました。

＜主な資格取得状況＞

- ・ジュニアマイスター顕彰 シルバー 2名
  - ・職業教育技術顕彰 8名
  - ・工業教育技術顕彰受賞者 5名
  - ・技術検定（機械保全）2級4名、3級24名
  - ・機械製図検定 13名
  - ・ガス溶接14名、アーク溶接4名
  - ・高所作業車運転技能講習39名
  - ・計算技術検定2級9名、3級51名
- その他 多数の資格取得
- ・高大連携を構築し、関連大学への進学にも注力しました。

## ■電気情報科

1. 国家資格等の取得を目指し、対策講座等を実施しました。

＜主な資格取得状況＞

- ・電気工事士 3名
  - ・低圧電気取扱特別教育 19名
  - ・高所作業車特別教育 12名
  - ・ガス溶接 2名
  - ・小型建設機械技能講習 9名
  - ・クレーン運転特別教育 8名
  - ・玉掛け技能講習 8名
  - ・小型移動式クレーン運転技能講習 3名
  - ・フォークリフト技能講習 3名
  - ・危険物取扱者乙種第4類 1名
2. 高大連携を推進し、関連大学への進学にも注力しました。
- ・岡山理科大学3名
  - ・倉敷芸術科学大学1名
3. 就職希望者には面接指導等を強化しました。

## 通信制課程

### ■通信制課程

教育を受ける機会を最大限に配慮し、入学、転入学については、随時可能としています。

また、入学した生徒に対し、学年令の区分には縛られない、生徒の希望、資質、進路に適合したユニークなクラス編成を設定し、生徒のニーズに合った指導を実施しました。

〈今後の取り組み目標〉

#### 1. 平日コースの充実

小学校、中学校就学時において、何らかの要因で十分な教育の機会と成果を得ることが出来ていない生徒に対して、平日、週2日の通学を施しH・R、所定の授業、学校行事、各種研修を計画的に実施することにより、自律・協調・継続という社会性と教養を高める指導を単位制・学年制で充実させることができました。

#### 2. 進路先の開拓と充実

通信制課程高等学校卒業後の進路確定率をさらに向上させるよう努めました。

#### 3. 生徒募集活動の強化

学校説明会を毎月実施しました。また、ホームページの内容を充実させ、募集活動に結びました。

## 主な行事

4月 8日	始業式
4月 9日	入学式
4月12日	入学式（通信）
5月16日	P T A総会
6月17～ 18日	球技大会
6月20日	第1回オープンスクール
7月18日	第2回オープンスクール
7月19日	後援会総会（通信）
7月26日	卒業式（通信）
8月30日	入学式（通信）
8月24日～ 28日	部活動オープンスクール

9月30日	体育祭
9月27日	第3回オープンスクール
10月2日	文化祭
10月3日	文化祭（通信）
10月24日	第4回オープンスクール
12月6日	卒業式（通信）
12月20日	入学式（通信）
1月9日	県外生入試
2月4・5日	選抜Ⅰ期入試
2月24日	選抜Ⅱ期入試
3月1日	卒業式
3月13日	卒業式（通信）
3月18日	終業式

## 生徒・教職員数

### ■在籍生徒数

（平成27年5月1日現在）

課程・学科・コース名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数	
全 日 制 課 程	教育学科	40	10	40	10	
	普 通 科	特別進学コース	20	321	1,140	893
		進学理大コース	60			
		進学総合コース	60			
		生命動物コース	40			
		アニメ・デザインコース	60			
		健康・スポーツコース	60			
		中高一貫コース	80			
		進学医療コース （募集停止）				
	普通科 計	380				
機械科	80	66	240	168		
電気情報科	（募集停止）		80	53		
全日制課程 計	500	397	1,500	1,124		
通信制課程（広域）普通科			600	223		
総合計	500	397	2,100	1,347		

（単位：人）

## ■卒業者数等一覧

(平成27年度)

区分	卒業者	就職希望者	就職者	就職率	進学希望者	進学者	進学率	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
		A	B	B/A	C	D	D/C			
全日制課程	376	68	68	100%	298	298	100%	10	1	0
通信制課程	75	24	14	58%	46	39	85%	20	3	0

※ 修業年限を超えて在籍している生徒数 (平成28年4月1日現在)

(単位：人)

主な就職先	JFEスチール(株)、トヨタ自動車(株)、(株)デンソー、ダイハツ工業(株)本社、菅公学生服(株)、カバヤ食品(株)、三井造船(株) (株)明治機械製作所、両備ホールディングス(株)、(株)エディオン、(株)DNP住空間マテリアル、旭電業(株) 他
主な進学先	神戸大学、広島大学、岡山大学、香川大学、大分大学、琉球大学、鹿屋体育大学、鳥取大学、早稲田大学、 慶応義塾大学、明治大学、立教大学、法政大学、同志社大学、立命館大学、関西大学、関西学院大学、甲南大学、 岡山理科大学、倉敷芸術科学大学、千葉科学大学、吉備国際大学 他

## ■教職員数

(平成27年5月1日現在)

校長	副校長・教頭	教諭	教員 計	事務職員
1	4	69	74	20

(単位：人)

# 財務関係

## ■事業活動収支

(単位：千円)

科目		27年度 決算額	前年度 決算額(※1)
教育活動 収入	学生生徒等納付金収入	661,128	680,865
	経常費等補助金	333,327	341,497
	その他収入	182,245	110,266
	計	1,176,700	1,132,627
	教育活動 支出	人件費	1,098,052
教育研究経費		312,941	287,506
管理経費		112,551	146,583
その他支出(※2)		0	27,829
計		1,523,544	1,492,155
教育活動収支差額		-346,844	-359,528
教育活動 外	収入 受取利息等	50	*
	支出 借入金利息等	21,060	*
	教育活動外収支差額	-21,011	*
経常収支差額		-367,855	-359,528
特別	収入 資産売却差額等	970	*
	支出 資産処分差額等	839	*
特別収支差額		132	*
基本金組入前収支差額		-367,723	-359,528
基本金組入額合計		-262,505	-34,041
当年度収支差額		-630,227	-393,568

※1 前年度決算額は、新会計基準の該当科目に反映させた

※2 \* 「教育活動収支」の「その他収入・支出」に含めた

## ■施設設備整備

(単位：千円)

事業名	金額
第2校舎1階男子トイレ改修	8,844
第10校舎2階職員来賓トイレ改修	6,129
第10校舎3階男子生徒トイレ改修	5,305
第10校舎外壁修繕工事	19,100
第10校舎廊下・階段修繕工事	4,400
剣道場東側斜面崩落防止対策工事	1,200
野球場修繕工事	17,118
ソフトテニスコート人工芝修繕	1,080
11校舎廊下階段床張替え	1,512
10校舎屋外階段床修繕	983